



“ヤゴ救出作戦”大成功!!

5月31日(火)、国分寺市立第五小学校で、3年生(2クラス、79人在籍)の総合的な学習の時間の授業(3時限コース)として“ヤゴ救出作戦”を実施しました。昨年に続いてまちセンスタッフを含む市民ボランティアが担当しました。

“ヤゴ救出作戦”・・・学校のプールには、秋になり水泳の授業が終わったあともずっと水をためてあります。そこへ、いろんな小さな生きものたちがやって来ます。トンボもやって来て卵を産みます。卵から孵った幼虫(ヤゴ)は、プールの中で成長します。でも、プールは6月頃になると水泳の授業に備え、清掃のために水を抜いてしまいます。そこでヤゴたちは流されてしまいます。それを救って(採集)、トンボにしてあげよう(飼育、観察)という授業です。小さな生き物の命を大切にする心を育むとともに、昆虫の生態を学ぶ、貴重な環境学習です。



1時限目は事前学習として、手作りの紙芝居(トンボの一生)も使って、トンボの生態について学習。さらにヤゴのすくい方や自宅での育て方を学びます。2時限目はプールでの救出(採集)作業。児童全員が、手作りの網をもって、水深5~30cm程度まで水を抜いたプールに入って、市民ボランティアと一緒にヤゴの救出をします。3時限目は教室に戻ってコップに入れたヤゴを皆んなで観察します。救出したヤゴは、大小あわせて約2,700匹、昨年を大幅に上回りました。殆どが赤トンボ(あきあかね)の幼虫でした。

以降教室で飼育するとともに、自宅での飼育が可能な児童は3~4匹ずつペットボトルに入れて持ち帰りました。羽化まで約1か月、飼育・観察します。餌はユスリカの幼虫、赤虫です。羽化を観察できれば、一生の思い出になることでしょう。

プールにカルガモ親子

ヤゴ救出作戦の余談ですが、水を抜く前の第五小学校のプールにカルガモ親子がやってきました。その後、日吉町の住宅地で発見されました。どうやって移動したかはわかりませんが、現在は姿見の池で親子そろって泳いでいる姿が見られます。
心なごむ話でした。

市民から寄せられた写真→

